

◆◆◆ CQ 4エリア ◆◆◆

JARL 中国地方本部長

JH4LPY 梶田英司 Eiji KAJITA

◆第4回 オール JA4 コンテスト 2026/3/31

4エリア、そして全国のコンテスト・ファンの皆様、大変お待たせしました！ 去る3月15日（日）12:00～21:00、4年ぶりに JARL 中国地方本部主催の「オール JA4 コンテスト」を開催することができました。

同コンテストにご参加頂きました皆様、楽しんでいただけましたでしょうか？ 私は、年度末の中国地方本部の会計報告の準備や、地元自治会の会長として、総会や役員選挙の準備で忙しく、参加はあきらめていましたが・・・15:00前、<ちょっと様子をのぞいてみよう♡ > と、ワッチしたのがいけません。皆さんが楽しく QSO しているのを聞くにつけ、無線の虫が疼きだしました。<もう、これは出るしかない！> 事務作業が夜遅くまでかかることや、コンテスト・ログを提出しなければ、相手局の得点に影響が出るコンテスト規約になっていることから、ログ作成の時間も発生しますが、参戦することにしました。

結果は、15:00～19:30まで、7MHz SSB で、165局と QSO できました。お相手頂いた皆様、ありがとうございました！

コンテスト・ログの受付担当者からは、3月29日現在、約300局からログが提出されていると伺いました。今後、コンテスト委員会で審査を行い、結果をできるだけ早く HP 等で発表させていただきたいと思っておりますので、お待ちいただきますようお願い致します。

◆あっ、あのビルは！ 2026/1/6

1月6日（火）10:18ごろ、自宅で洗面台にいた時、いきなりスマホの緊急地震速報が鳴りました。同時に、緊急告知 FM ラジオ（愛称：こくっち）が起動し、倉敷市の「緊急情報提供無線システム」の屋外拡声スピーカーも作動しました。あわてて、柱が多いと思われるトイレ付近に避難したところ、少し間があって、かなり大きな揺れがやって来ました。あとで TV の地震速報を見ると「震度4」でした。

震源は島根県東部で、「震度5強」でした。あとから聞いた震源に近い地域の方からの情報では、報道はあまりされていないものの、棟瓦がずれるなどの

被害がかなりあったそうです。

被害にあわれた皆様に、お見舞い申し上げます。

ところで、災害時にTV各社は、ニュースで災害現場からの中継映像を流しますが、NHKはJR松江駅南口から、ニュースの時間ごとに中継を行っていました。まず、駅舎が映し出され、中継の担当記者に続いてカメラが右（南側）へパンされるとコンクリートのビルが映し出されます。ビルの名称は「松江駅南ビル」。この名前にピンときた方、あなたは素晴らしいJARL会員です！ そう、このビルこそ1月7日から業務を始める（新）QSLビューローが入るビルなのです。ニュースの時間ごとに中継で映し出され、期せずして全国の会員の目に触れることになったのでした。

ところで、無線局には、災害時などにおいて、「非常通信を行うことができる。」（電波法52条第4号）とされていることは、ご存じのことと思います。また、「総務大臣は、非常の場合においては、人命の救助や災害の救援等に必要なる通信を無線局に行わせることができる。」（電波法第74条第1項）とされています。

私たちが持っている「非常通信」のイメージは、ボランティアの立場から行う前者であり、後者のいわば総務大臣の命令によって行われる非常通信は、アマチュア無線局では行われたことはありません。

JARL中国地方本部と各支部は、中国地方非常通信協議会（事務局：総務省中国総合通信局内、293団体が所属。）の構成員です。毎年開催される総会（最近は、Zoomを併用）には、中国地方本部長と各支部長が出席しています。

近年、アマチュア無線局に対し、社会貢献の期待が高まりました。災害時には、被災地域内ばかりではなく、いわゆるオフサイト（被災地域外）からの支援が、無線の特性を生かした取り組みになると思います。

自治体では、震度4以上の地震が発生した場合には、あらかじめ定められた職員が参集することになっています。これを手本にしたのかもしれませんが、震度4以上の地震が発生した場合には、クラブ員がワッチする取り組みをしているアマチュア無線クラブもあります。

JARL中国地方本部としても、決して強制するものではありませんが、ボランティアの立場から、災害時にはワッチを行うようご協力を頂ければと思います。

◆ハムと「およげ！たいやきくん」 2026/1/5

1/5（月）のお昼前、TV をつけると、私の世代には懐かしい楽曲「およげ！たいやきくん」にまつわる番組が放送されていました。それは、NHK のアナザーストーリーズ「運命の分岐点『およげ！たいやきくん』伝説」でした。

お正月気分でボ～ッと視ていると、突然アマチュア無線の話題が出てきてびっくり！ そーいえば、私がアマチュア無線を始めたころ —— たぶん CQ 誌だったと思うのですが—— 歌手の子門さんがアマチュア無線家であることが紹介されていたのを思い出しました。当時のコールサインは、J11KLLK。（「J11」のプリフィックスは、当時のもので懐かしい。）

【注】「およげ！たいやきくん」は子門真人さんが歌い 1975（昭和 50）年に発売されたシングル・レコードで、売り上げ枚数 453.6 万枚の大ヒット曲。社会現象にもなり、全国でたいやきが大いに売れた。

「日本の最も売れたシングル・レコード」として、ギネス世界記録にも認定されている。

ちなみに B 面は、なぎらけんいちさんの「いっぽんでもニンジン」で、「両 A 面」扱いとなっている。これも有名。

レコードは売れたものの、お二人とも「レコード権」は持たなかったため、会社からもらったのはたったの 5 万円とのオチだった。

番組では、子門さんがラジオパーソナリティとして、日本短波放送（ラジオたんぱ）のアナウンサー大橋照子さん（この番組がきっかけでアマチュア無線の資格を取得。当時のコールサインは、JL1GPK。）と共に担当していた、同局の番組「子門と照子の QSO ジョッキー」が紹介され、お二人がスタジオでマイクを囲む写真が表紙となった「アマチュア無線運用マニュアル」（1978 年、電波新聞社発行）も映し出されました。

私は、当時駆け出しハムで、お二人の番組を聞いたことはなくて、残念！

余談ですが、ラジオパーソナリティのハムで思い出すのは、「こんばんは、こんばんは、もひとつおまけに、こんばんは。」のセリフでおなじみの、民法 FM で活躍された青木小夜子さん（JH1WWS）を思い出します。彼女の声も美しかったなあ～。

◆2026年スタート 2026/1/5

2026（令和8）年、あけましておめでとうございます。

皆様、お正月をいかがお過ごしでしょうか？ 私は、開局以来途切れることなく毎年参加している「QSOパーティ」に、1月4日（日）参加しました。

実は、昨年12月以来、不整脈に伴う倦怠感に悩まされ、これまでになく苦しい参加となりました。しか～し、ここまで来ると途切れさせるのは誠に残念。やっとの思いで、連続50回目のQSOパーティ参加を達成しました。

や～れやれ！

◆2025年をふりかえって 2025/12/8

2025年も、残すところ3週間余りとなりましたが、皆様にとって今年はどうな1年だったでしょうか？

私は、ホームページビルダーしか使えないため、なかなかこのページを更新することができなかったことを、まずはお詫びいたします。（早く勉強しなければ！）申し訳ございません。

私が、中国地方本部長に就任して1年、議決権のないいわゆる「ただし書き地方本部長」として、5県支部長や中国地方社員、そして中国地方会員の皆様のご協力をいただきながら、中国地方本部役員と共に中国地方本部の運営を行ってまいりました。そんな中、中国地方の理事からは、理事会等の情報が一切もらえなかったのは、大変残念なことです。

さて、改めて中国地方本部のこの1年をふりかえってみます。

<2024年>

12月 会計業務の正常化（滞っていた支部予算を支給）

<2025年>

1月25日（土） 島根県支部発足式（再構築）

4月19日（日） ARDF審判員講習会（岡山県倉敷市）

6月15日（日） ARDF審判員講習会（山口県防府市）

10月26日（日） 中国地方ARDF競技大会（岡山県真庭市）

※4年ぶり開催

11月2日(日) 中国地方合同ハムの集い in 山口(山口県防府市)
※6年ぶり開催

〔このほか、中国地方本部会議、監査指導委員長会議、ARDF委員会、
コンテスト委員会など、中国地方本部の運営をしてまいりました。〕

また、来年に向けて、次のとおり準備を行っています。

<2026年>

3月15日(日) 第4回 オールJA4コンテスト 〔予定〕
※4年ぶり開催

10月3日(土) 全日本ARDF競技大会 〔予定〕

～10月4日(日) ※11年ぶり、4エリア開催

私は、「アマチュア無線は、楽しむもの。」と思っています。電波には国境はなく、全世界(宇宙にも)に降り注ぎます。政治や宗教、人種や性別、社会的地位、年齢などに関係なく、対等に語り合える・・・それが、アマチュア無線のすばらしさだと思います。自身のハム人生をふりかえって、ほそぼそでも切れ間なく続けてこられたのは、そうした電波の持つ特性がもたらす偶然の出会いに、驚き、感動したからにほかなりません。

来年は、JARL 創立100周年。「楽しくわくわくするアマチュア無線」を目指して、4エリアの皆様と共に働かせていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

どうぞ皆様、メリー・クリスマス & よいお年をお迎えください。

◆TVに出演! 2025/11/13

11月10日(月)、Iさん、Tさんと3人で、JP4YDV(D-STARのJARL直轄レピーター、通称「倉敷レピーター」)の管理作業をしていた時のこと、1台のタクシーがやって来ました。ここは、某ゴルフ場の管理道路を少し上った山の頂上、一般の車両は入れない所です。

降りてきた人に、「何をされているんですか?」と尋ねられました。

<そりゃこっちのセリフじゃ!>

「怪しい者ではありません。」

<ますます怪しい!>

と、渡された名刺を見ると「NHK記者」と書かれています。もう一人、カメラを持った人もいっしょです。

<何？ なに？>

話を聞くと、すぐそばにある銅像（実は備前焼製。岡山県の乳牛牧場のパイオニア）の取材だとのこと。私たちは、アマチュア無線の中継局の管理作業をしているところで、私は、銅像周辺の除草もボランティアで行っていると言ったところインタビューされました。カメラの回る中、高さ約1mの顕彰碑の文面をすべて読み上げたり（この部分はカット）、刈払機で除草したりしました。

そして、11月13日（木）の18:10からの岡山県ローカル「もぎたて！」の中で「日本アマチュア無線連盟・梶田英司さん」の字幕付きで紹介されました。

けっこう視ている人はいるもので、後日アマチュア無線家をはじめ、いろいろな方から「見たよ！」と声をかけられました。

<善行を神様はちゃんと見ておられるのだなあ。>と感じた出来事でした。

JARLとアマチュア無線のPRにも一役かえたと思います。

◆就任3か月 2025/3/20

少し暖かさを感じるようになった今日この頃ですが、4エリア会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

私が中国地方本部長に就任して、3か月がたちました。この間、中国地方本部から各支部へ未払いになっていた事業費の支給など、JR4OZR久木田会計監査を中心に、各支部長の協力をいただきながら、中国地方本部会計について、確認・整理を行いました。

また、島根県支部についても、JA4DND松浦中国地方社員にご尽力をいただき、島根県支部会員の皆様のご協力を得て再構築することができました。この場を借りて、厚くお礼申し上げます。

令和7年度の事業計画と予算も、JARL理事会で承認をいただいております、来年度からスムーズなスタートが切れる状況となっております。

また、中国地方本部の組織についても、それぞれの役員職に就いていただくことができました。さらに、下部組織として委員会を設置することとし、各支部から監査指導委員長、コンテスト委員、ARDF委員を選出していただき、相談しながら事業を進めてまいります。

さらに、ホームページもリニューアルしました。今後はHPを通じて情報を発信することで、4エリアの皆様にご中国地方本部を身近に感じていただくことで、皆様の力を結集して、アマチュア無線の楽しさを倍増していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

私は、次の5つのことを柱に、中国地方本部を運営してまいります。

1. 明朗な会計処理

JARL 会費を原資とする中国地方本部費を正しく運用します。
中国地方本部会議での合意に基づいて支出し、そのいとまがなかった場合は、後日きちんと報告します。

【参考】令和7年度 中国地方本部予算額 167万円

2. 楽しめる事業の実施

県を跨った事業の実施など、中国地方の会員が力を合わせることで、楽しさをより増大できる事業に取り組みます。

3. 社会貢献への取り組み

災害時の非常通信など、社会に貢献できる活動を行います。また、地方自治体が実施する防災訓練に参加し、日頃からコミュニケーションをとることで、災害時の円滑な連携を図ります。

4. 次世代を含め、広く一般の人々にアマチュア無線を紹介

小中学生を対象にした電子工作や交信体験を実施するとともに、「ハムの集い」などのイベントに、広く一般の人々にも参加していただけるよう取り組みを工夫し、アマチュア無線愛好者の増加を図り、JARL の継続的発展 (SDGs) につなげます。

5. 知識・技術の向上

新しいアマチュア無線技術の習得と、楽しい運用方法の普及のため、講演会や技術講習会に取り組みます。

本年は、日本での放送開始 100 年、来年は JARL 創立 100 周年、再来年は日本のアマチュア無線正式免許 100 周年と節目の年が続きます。中国地方本部としても、参画できる記念事業があれば取り組みたいと思います。

私個人にとっては、今年は開局 50 周年を迎える年でもあります。このよう

な年に、中国地方本部長という重責を務めさせていただくことになりました。

アマチュア無線は、キング・オブ・ホビーと呼ばれます。その意味を私なりに考えてみました。電波は誰にでも公平に降り注ぎます。私たちは自宅に居ながらにして、マイクに向かうことで、年齢や性別、人種、社会的地位に関係なく、対等に語り合うことができます。これが「王様（女王様）」と呼ばれる所以ではないかと思えます。

最後に、どうか皆様、私たちが愛するアマチュア無線の発展のために、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

◆中国地方本部長就任のご挨拶 2024/12/8

中国地方 JARL 会員の皆様へ

初冬の候、中国地方 JARL 会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、JARL Web の「第 76 回理事会報告」でご存じのこととは思いますが、理事会において松田中国地方本部長に対し「4月になされた中国地方の会員あての文書の送付費用（約 38 万円）を中国地方本部費に返還すること」と、「中国地方本部長を辞任すること」が、「出席理事全員異議なく承認」され、松田氏は、令和 6 年 12 月 1 日付けで、中国地方本部長の辞任届を提出しました。

これを受け、中国地方の各支部長から、私を中国地方本部長とする推薦書が提出されたのに対し、森田会長名により「連盟の組織等の安定を図る上から」「規則第 37 条第 1 項ただし書き地方本部長として」の委嘱書が、令和 6 年 12 月 6 日付けで交付されました。（なお、松田氏は、理事として留まりません。）

私は、岡山県支部長当時、中国地方本部会議等で他の支部長と共に、松田氏に対し、中国地方本部長としての職責をきちんと果たされるよう意見してまいりましたが聞き入れられず、このような形で交代することとなったことを残念に思うと同時に、4 エリア外に対し、大変恥ずかしいことであると思えます。

私は、アマチュア無線は趣味であり、JARL を個人的な対立の場にはしたくありません。今後は、中国地方の各支部長、社員の皆様をはじめ、JARL 会員の皆様方のご協力を頂きながら、力を合わせることで実現できるアマチュア無線の楽しみ方など、ボランティア精神の素晴らしさを生かしつつ組織運営に努めてまいりますので、どうぞご協力のほど、よろしくお願い致します。

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
中国地方本部長 JH4LPY 梶田英司